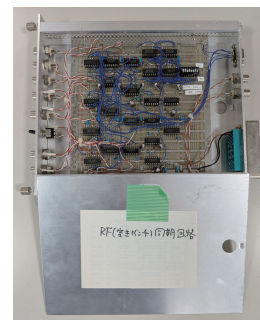


KEK 史料室 活動報告 (2026 年 7、8 月)

1. 資料の受入れ

- a. 上窪田紀彦氏資料。資料概要：物品資料。J-PARC 加速器 Main Ring で初期 (2008-2010) に自作された NIM モジュール。1. RF (空きバンチ) 同期回路、2. Gate 付 OR 回路 (作成者：石田忠治氏、日本アドバンステクノロジー株式会社) 上窪田紀彦氏の解説資料と併せて 7 月 24 日受入。



- b. Daniel Jeans 氏資料。資料概要：物品資料 (7 月 30 日受入)



- c. APS News Vol.17 No.10, November 2008 (2008 年ノーベル物理学賞受賞についての記事) (筒井泉氏から 8 月 17 日受入)
- d. KEK ロゴ入りの 3.5 インチフロッピーディスク (3 種類) (旧回路室で所蔵していた物品と考えられる。8 月 31 日受入)



2. 資料の利用

- a. 利用者：KEK 職員、利用資料：KEK 1m 泡箱本体の写真 (1 枚)、飛跡の写真 (5 枚) (7 月 14 日)
- b. 利用者：KEK ダイヤモンドフェロー、利用資料：高崎史彦氏写真 (14 枚) (7 月 17 日)
- c. 利用者：KEK 職員、利用資料：木村嘉孝氏写真 (4 枚) (7 月 30 日)
- d. 利用者：大阪工業大学 教員、利用資料：核研設立時の研究者の声 1953 ~ 1954 年、田無町核研設置反対資料、資料 (核研設立時) 1954-1957 熊谷寛夫、民科化学部会 民科物理部会 (準備会)、編集 部会 通信 No.1、民主主義科学者協会物理部会速報 No.2 (8 月 7 日)

3. 資料目録の公開

「高エネルギー加速器研究機構アーカイブズデータベース」へ以下の資料目録を公開しました。整理が済んだ資料から目録の公開を行っています。公開目録件数：42,965 件 (2026 年 8 月末 時点) URL：https://www.i-repository.net/il/meta_pub/G0000093KEK

- a. 計算科学センター関連資料 (追加整理分)、資料概要：1970 ~ 1980 年代と思われる計算科学センターで使用されていた古い計算機のスライド (箱入り 28 枚)、データ処理センター (現・計算科学センター) 関連写真 (CHEP 1991、次世代データ処理研究会、職員、建物外観・室内、第 2 期中央計算機被露式、計算機納入、他) 資料年代：1966 ~ 2001 年
- b. 高橋嘉右氏資料、資料概要：日米協力 30 周年記念シンポジウム、KEK30 周年記念講演会、南部陽一郎氏から高橋嘉右氏宛ての書簡、南部陽一郎先生オーラルヒストリーインタビュー関連資料、素粒子の大統一理論の検証、陽子寿命測定の予備実験、他 資料年代：1942 ~ 2012 年

4. 一般公開 (2026/9/6) ブース展示・ミニ講演会準備

今年度の一般公開でブース展示、ミニ講演会を予定しており、準備を進めています。

【テーマ】「素粒子を視る」

【会場】 桂不動産 KEK コミュニケーションプラザ 史料室展示コーナー

【ミニ講演会】

タイトル：「素粒子を目で見る - KEK で 1970 年代に活躍した水素泡箱について -」

講演者：坪山 透 (KEK 応用超伝導加速器イノベーションセンター 研究員)

場所：桂不動産 KEK コミュニケーションプラザ内

時間：11:00 ～ 11:30、14:00 ～ 14:30

【ノベルティ】1. まちがい探しに挑戦してキーホルダーを釣ろう！

2. 実際の泡箱実験フィルムで作成した栞

主に、[解説パネル](#)、泡箱図面資料、泡箱関連写真資料の展示を予定しています。

5. 2026 年度 第 1 回 自然科学系アーカイブズ研究会 (2026/9/17-18) 開催準備

以下の要領で 2026 年度第 1 回自然科学系アーカイブズ研究会の開催を予定しており、準備を進めております。

【テーマ】「国際協力研究と共同利用研究所」

【日時】2026 年 9 月 17 日 (木) 13:30 ～ 17:10、9 月 18 日 (金) 9:30 ～ 14:40

【会場】KEK4 号館 1F セミナーホール、オンライン (Teams)

【プログラム】https://www2.kek.jp/archives/symposium/paper/2026/program_2026_09.pdf

6. その他

・西川哲治氏資料、中井浩二氏資料、三宅康博氏資料、トリスタン関連資料の目録登録を進めています。
また、所蔵している資料から、重複資料、図書室で所蔵している刊行物等をリストアップし、原本を確認後、DB へ記録を残して廃棄 (図書で欠号がある場合は提供) を進めています。

以上